

資 料 提 供	
令和6年4月17日	
担当課 (担当者)	県立博物館 学芸課 (福代 宏)
電 話	0 8 5 7 - 2 6 - 8 0 4 4

県立博物館 歴史・民俗展示室「歴史の窓」コーナーを展示替えしました

『古今童謡』のすべて

—新指定文化財「山陰における口承文芸の記録（童謡・民話等）」—

令和6年2月5日、鳥取県文化財保護審議会は、当館所蔵の『古今童謡』と酒井董美氏（口承文芸研究者）収集の童謡・民話等を「山陰における口承文芸の記録」として鳥取県有形民俗文化財に指定するよう答申しました。今後、当館所蔵の歴史資料と民俗資料が、鳥取県の有形民俗文化財に指定されます。

歴史資料である『古今童謡』は、民俗事象の中でも口頭で伝承される口承文芸が、江戸時代中期の鳥取藩士によって記録されているという、貴重な記録といえます。また、一方で鳥取県内で長く伝えられてきたわらべ歌（民俗資料）には、同書に収録されたものに似通ったものがあります。

これら2件の資料を合わせることで、山陰・鳥取の口承文芸の特色を歴史民俗的に物語ることができる、という点が文化財の意義です。この展示では、『古今童謡』のすべてを見せます。

1 展示資料

古今童謡 1冊

2 展示期間

令和6年4月9日（火）から 同年5月19日（日）まで

3 展示場所

県立博物館 歴史・民俗展示室 「歴史の窓」コーナー

